

4年振りの「地域とともに」 山の納涼音頭大会



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株)電子印刷センター



自治会による郷土の踊り



フラ・ハーラウ・オハルによる踊り



大会会長挨拶



隊員による創作踊り

次は3回目の出演となるフラ・ハーラウ・オハルによるフラダンス及びタヒチアンダンスを披露し華やかに「音楽祭り」を終えた。その後、大会実行委員長である別府駐屯業務隊長北平栄二・二等陸佐による開会宣言により「山の納涼音頭大会」は始まった。次に大会会長を務める第41普通科連隊長兼ねて別府駐屯地司令 小林直基 1等陸佐は「新型コロナウイルスの影響で様々な行事が中止され、地域の皆様と接する機会が奪われましたが、地域の皆様の支えがなければ駐屯地の運営は成り立ちません。そのような中、4年ぶりとなる大会を開催することができ、大変嬉しく思います。今日は時間の許す限り、有意義なひとときをお過ごしください」とあいさつを述べた。引き続き、南立石地区 南荘園自治会長 姫野善昭氏のあいさつ、別府市副市長 阿部万寿夫氏から祝辞をいただいた。

その後、各自治会約500名による「温泉踊り」・「別府音頭」・「ヤツチキ」を別府太鼓連の扇山に響く太鼓の音、豊秀会による夜空に響く歌声とともに、お囃子にのり、郷土の踊りを披露した。踊り終了後、駐屯地隊員による「創作踊り」では、各チームが優勝を目指して工夫を凝らした衣装や、小道具を使用したダンスを披露した。

途中、雨が降る場面もあったが、個性あふれるダンスに観客は立ち退くことなく笑顔があふれていた。また激しい降雨の予報により急遽予定を早めた大会のフィナーレとなる花火では、夜空に輝く光の輪に大きな歓声があがった。

別府駐屯地は、山の納涼音頭大会を通じて、4年ぶりの駐屯地一般開放を行い「地域とともに」再び親睦を深めた。



フィナーレの花火

令和5年度 山の納涼音頭大会

別府駐屯地は、令和5年8月5日(土)、別府駐屯地グラウンドにおいて、令和5年度山の納涼音頭大会を近傍34自治会との共催で4年ぶりに実施した。はじめに「音楽祭り」では、第41普通科連隊長音楽部及び西部方面特科隊音楽部合同の演奏で、夏にちなんだ選曲により観客を魅了した。

新隊員 特技課程教育

連隊は7月6日(木)から9月22日(金)までの間、新隊員特技課程教育を実施した。新隊員は、普通科部隊の火器である機関銃や対戦車火器、迫撃砲などの専門的な知識・技能を学ぶとともに、強靱な近接戦闘に耐えるべく、体力の錬成に励んだ。また教育を通じ同期の絆を深め、ともに成長を続けていた。

修了式では第41普通科連隊長 小林直基 1等陸佐が「教育の終始を通じて、仲間というものが、如何に大切かということを学び、一生付き合える絆を築けたと思う。いよいよそれぞれの部隊及び中隊に配置され、新たな第一歩を踏み出すこととなるが、本課程をやり遂げた自信をもって、胸を張り部隊及び中隊に行ってもらいたい」と式辞を述べた。今回、成績優秀につき連隊長賞を表彰した柳本剣士 2等陸士は「配属先では、様々な事を自ら積極的に取り組んでいきたい」と決意を述べた。

新隊員は第41普通科連隊の各中隊、一部については他部隊へと配属となる。新隊員特課程教育で学んだことを基礎とし、若き自衛官の活躍に期待する。



縮射弾射撃訓練



操法訓練



行進訓練



戦闘訓練

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

令和5年度 総合戦闘射撃

連隊は、令和5年7月24日(月)及び25日(火)に、令和5年度総合戦闘射撃を実施した。本訓練は、各職種部隊の総合火力発揮能力の向上を目的として実施した。第一線地域の攻撃を想定とした戦闘訓練では、ドローンによる上空偵察を実施し、目標地域の情報収集を行った。



令和5年度 連隊81mm迫撃砲射撃競技会

連隊は、令和5年8月3日(木)に、連隊81mm迫撃砲射撃競技会を実施した。81mm迫撃砲は、地形などで遮られている見えない陣地から狙った目標に対し、上空を弧を描くように射撃を行う兵器である。本競技会は射撃地域への陣地進入の時間、実弾射撃による精度及び速度を評価基準として競われた。陣地進入では計測が始まると同時に、分隊員は迫撃砲を持って陣地へ駆けて、射撃準備を行った。そして、射撃準備が完了し、実弾訓練では小隊一丸となり、相互連携し射撃任務を完了した。



令和5年度 第2次師団演習

連隊は、令和5年9月2日(土)から同月7日(木)の間、第2次師団演習に参加した。本訓練は、領域横断作戦環境下における防衛行動の練度向上、第一中隊及び情報小隊の練度の評価判定を目的として行われた。第一中隊は、与えられた任務に基づき、各級指揮官のもと、強固な防衛陣地を構築した。情報小隊は、情報獲得のため、隠密に各地域に潜伏し、偵察を実施した。敵部隊の侵攻を情報小隊が速やかに発見し、情報の共有を行うと、味方部隊は防衛戦闘に備えた。そして情報と火力と機動を連携し、壮絶な戦闘を繰りひろげ、状況は終了した。



部外イベント支援



7~9月 定年退官者紹介

- 7月3日付) 別府駐屯地業務隊
7月14日付) 別府駐屯地業務隊
7月31日付) 別府駐屯地業務隊
8月4日付) 別府駐屯地業務隊
8月19日付) 別府駐屯地業務隊
9月1日付) 別府駐屯地業務隊
9月6日付) 別府駐屯地業務隊
9月25日付) 別府駐屯地業務隊
9月26日付) 別府駐屯地業務隊

8月定期異動者紹介

転出者
第41普通科連隊から
連隊本部(1名)
本部管理中隊(2名)
1等陸曹 石橋 武士
3等陸曹 長谷野 淳柄
陸士長 永田 雅哉
2等陸尉 川越 一伸
2等陸尉 日野 慶一
2等陸曹 渡海 健太
3等陸尉 渡海 健太
3等陸尉 大西 真琴
3等陸尉 坂井 恭真
輸送航空隊 北川 貴大
3等陸尉 川原 拓海
1等陸士 堤 大和
3等陸曹 田口 慶介
3等陸曹 大迫 明紀
重迫撃砲中隊(2名)
2等陸尉 西田 哲也
3等陸曹 太鼓 真佑
別府駐屯地業務隊から
1等陸尉 後藤 和也
3等陸尉 上本 英明
3等陸曹 川口 藍里
1等陸尉 高田 仁
1等陸尉 山滝 高広
2等陸尉 渡邊 隆久
1等陸曹 中島 修
2等陸曹 川又 麗次
3等陸曹 磯板 天行
3等陸尉 砂川 正行
陸曹長 溝口 勝徳
湯布院派遣隊 2等陸尉 砂川 正行
湯布院派遣隊 3等陸尉 磯板 天行
湯布院派遣隊 陸士長 永田 雅哉
湯布院派遣隊 陸士長 甲斐 盛治
大分派遣隊 3等陸尉 谷口 章也
大分地域支援センターから
陸曹長 松本 幸治
大分地方協力本部(大分)

- 第41普通科連隊から
連隊本部(1名)
本部管理中隊(2名)
1等陸曹 石橋 武士
3等陸曹 長谷野 淳柄
陸士長 永田 雅哉
2等陸尉 川越 一伸
2等陸尉 日野 慶一
2等陸曹 渡海 健太
3等陸尉 渡海 健太
3等陸尉 大西 真琴
3等陸尉 坂井 恭真
輸送航空隊 北川 貴大
3等陸尉 川原 拓海
1等陸士 堤 大和
3等陸曹 田口 慶介
3等陸曹 大迫 明紀
重迫撃砲中隊(2名)
2等陸尉 西田 哲也
3等陸曹 太鼓 真佑
別府駐屯地業務隊から
1等陸尉 後藤 和也
3等陸尉 上本 英明
3等陸曹 川口 藍里
1等陸尉 高田 仁
1等陸尉 山滝 高広
2等陸尉 渡邊 隆久
1等陸曹 中島 修
2等陸曹 川又 麗次
3等陸曹 磯板 天行
3等陸尉 砂川 正行
陸曹長 溝口 勝徳
湯布院派遣隊 2等陸尉 砂川 正行
湯布院派遣隊 3等陸尉 磯板 天行
湯布院派遣隊 陸士長 永田 雅哉
湯布院派遣隊 陸士長 甲斐 盛治
大分派遣隊 3等陸尉 谷口 章也
大分地域支援センターから
陸曹長 松本 幸治
大分地方協力本部(大分)

別府駐屯地業務隊

輸送班車両操縦練成訓練

別府駐屯地業務隊(管理科輸送班)は車両操縦練成訓練を実施した。車両操縦練成は操縦手である隊員の練度を維持・向上させること、その地域の特性や交通状況を把握し、慣熟させることを目的とし、定期的を実施するものである。近年、車両重大事故が連続発生する中、昨年度より、アルコルチェッカーによる運転前・後の測定・記録が開始されるなど、陸上自衛隊全体としても厳しく対応している状況である。車両事故による不幸な隊員を出さないため、今後もより一層、実りのある車両操縦練成訓練を実施し、平成29年4月から継続中の官用車両無事故および私有車両事故の根絶を図る。



操縦練成訓練(狭路通過)



操縦練成訓練(鋭角の通過)



救急車の操縦練成訓練

大分地方協力本部 大分地域援護センター

艦艇広報

大分地域援護センターは、9月1日(金)から3日(日)の間、別府国際観光港第4埠頭において、海上自衛隊呉地方総監の支援を受け「練習潜水艦みちしお」の一般公開及び特別公開による艦艇広報を支援した。この際、自衛隊退職者就職支援協議会、自衛隊家族会等会員をはじめ、多数の一般参加者を招き、広報ブース等と相まって活況を呈した。また翌週末の10日(日)及び11日(月)の両日には、同地において「護衛艦さざなみ」の一般公開及び特別公開による艦艇広報を支援し、自衛隊の活動に対する理解の促進及び親近感の醸成を図った。



艦艇広報(護衛艦さざなみ)

また8月29日(火)、福岡国際会議場で実施された「福岡県任期制隊員合同企業説明会」、30日(水)には長崎「パークベルズ大村」で実施された任期制隊員合同企業説明会に参加し、会場内の各種準備状況及び説明会運営要領を研修し、来たる10月5日(木)に大分市で実施予定の、任期制隊員合同企業説明会開催の資を得た。



艦艇広報(潜水艦みちしお)

第404会計隊

集中野外訓練

会計隊は、十文字原演習場にて7月15日(土)・16日(日)に集中野外訓練を機別で、8月25日(金)・26日(土)に第2次集中野外訓練を一連の状況下で警戒自衛戦闘訓練を実施した。

今訓練間の会計隊長要望事項「本質を理解して行動せよ」「安全・物品管理」を意識して訓練するとともに、各隊員が基本基礎の徹底に努め行動し、10月中旬に受領する「令和5年度方面会計隊長計画訓練検閲」に向けて大きな訓練成果があった。



敵の拘束・対処



警戒する隊員

第3普通科直接支援中隊

第3次中隊訓練

第3普通科直接支援中隊は、9月2日(土)から9月8日(金)までの間、第2次師団演習(第4次連隊練成)の場において、第3回中隊訓練を実施した。

本訓練は、各装備品の整備、回収業務及び部品補給業務の野整備支援を基本とし、自律分散型の戦闘を行う味方部隊に対する支援要領を演練・検証するとともに、検閲指導事項を是正して、野整備支援能力の練度向上を図る目的で実施し、本訓練において、横転した小型車の回収等の支援業務を含め、偵察先発隊の索敵・安全化、掩体構築等の基本基礎を演練し、部隊の精鋭化を図ることができた。

引き続き、練度向上に努め、被支援部隊に対する支援任務を完遂できるように、邁進していく。



地域の安全化

第134地区警務隊 別府派遣隊

警務隊の活動状況

警務隊は、令和5年7月24日(日)から8月4日(金)までの間、休暇に伴う夏季防犯活動を実施した。重視項目は窃盗犯罪の防止及び性的犯罪の防止を掲げ、各部隊等に対して防犯資料の配布、防犯助言を行うとともに、隊内放送も活用して防犯意識の高揚に努めた。今後も部隊の協力を得て実施していきたい。

また、令和5年8月5日(土)別府駐屯地で実施された山の納涼音頭大会において、要人警護を実施した。来賓・招待者一般来場者が来場されるとかなりの人数となり混交する事が予想されたことから、綿密な計画と調整、不測事態発生時の対処要領を検討し、万全な態勢で警護を実施して、事件事故なく任務を完遂することができた。



要人警護の状況



防犯資料配布の状況

第304基地通信中隊 別府派遣隊

令和5年度 西部方面システム通信群演習

令和5年9月11日(月)から9月15日(金)までの間、令和5年度群演習が実施された。統裁官要領事項の「一つ境界を超えろ」を意識した目標を各人が設定し、別府駐屯地及び大分分屯地において「通信所防護」、「各種所要に応じたシステム通信組織の構成」等の訓練に臨み、部隊としての防護力強化、継戦能力の向上を図ることができた。また、野外通信部隊との連携により通信群全体としての任務遂行に貢献した。これまでの訓練の積み重ねにより各種状況において個々の隊員の意識の変化を確認した。今後も更に強靱な部隊を目指し練成していく。



衛星捕足



野外通信部隊との連携

別府駐屯地 X (Twitter) X 更新中!! 陸上自衛隊別府駐屯地(公式) フォロー

